

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	多摩ニュータウン環境組合 管理者 阿部 裕行				
事業者番号	A	0	6	3	5

2 報告する事業所等の全体の状況(2023年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	687	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出 量	1,345	t
----------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	<input type="checkbox"/>	義務提出事業所等	<input checked="" type="checkbox"/>	全事業所
----------	--------------------------	----------	-------------------------------------	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
合計二酸化炭素排出 量	710.00	736.00	799.00	576.00	1,345.00	t
合計延床面積	34,380.00	34,380.00	34,380.00	34,380.00	34,380.00	㎡
合計原単位	20.65154	21.40779	23.24025	16.75392	39.12158	kg-CO ₂ /㎡

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-17.31	%
平均合計原単位改善 率	-17.31	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	—	ランク
---------------------	---	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成した。
--------------	---

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	使用電力量の削減を目指し、節電対策、照明のLED化、省エネ機器への更新を重点的に取り組みます。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
	A105	取組内容や点検体制の定期的改善	A102	温暖化対策推進担当の配置
	A108	組織横断的な推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定
	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	A107	排出状況の整理・分析・提供
			A112	温暖化対策提案制度の導入
		A115	優良事例の組織内共有体制の構築	

12 特記事項

地球温暖化対策として、平成17年度から「地球温暖化対策計画書制度」に取り組み、平成22年度東京都より「AA」の評価を得た。また、平成26年度から平成28年度まで長寿命化計画に基づく基幹設備改良工事を実施し、省エネ効果の高い機器への更新を行い、二酸化炭素排出量の削減を図った。平成29年度からは「照明のLED化計画」を作成し、計画的にLEDへの交換を実施した。令和元年度から令和3年度まで空調設備更新工事を行った。令和4年度からLED照明の効果的な使用方法を確認している。平成30年度からは令和9年度までの10年間「長期修繕計画」に基づき、機器の更新等により効果的な維持管理を実施する。令和元年度に「地球温暖化対策実行計画書」を策定し、継続的に実行している。令和4年度より「電力地産地消事業」を実施し、構成市への展開を検討している。隣接する施設へ継続的に余熱を供給し、二酸化炭素の削減を図った。令和5年度は電気設備火災が発生した影響で蒸気タービン発電機が故障したため、買電量が増加しています。また、応急復旧中に使用した仮設発電機の稼働により軽油の使用量が増加しています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	多摩ニュータウン環境組合										
事業所番号	A	0	6	3	5	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	2	0	6	-	0	0	3	5	区市町村名	多摩市
	町名番地下	唐木田2-1-1									
事業所等の延床面積	34,380.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満						
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input checked="" type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	6	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー発電設備の設置 <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー電気の受入 <input type="checkbox"/> 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	687	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,345 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8 t
	総計(④=②+③)	④	1,353 t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
						排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	112,118.2	45.00	5,045.3	0.0136	251.6		
	その他(軽油)	<input type="checkbox"/>	L	17,271.0	37.70	651.1	0.0187	44.6		
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	847.0	36.70	31.1	0.0185	2.1		
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	2,141,952.0	9.76	20,905.5	0.4890	1,047.4		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{**}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	
合計						⑭	26,633.0		⑮	1,345.8
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	15,006.0				0.2660	4.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	10,081.0				0.4000	4.0	
合計								⑯	8.0	

*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出係数
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

*2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
エネルギー等の 使用状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
	B107	主要設備の使用状況の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	D204	空調フィルターの清掃・点検
		D205	換気フィルターの清掃・点検	D211	ボイラ等の定期点検の実施
		D217	ボイラ等の空気比の調整	D214	ボイラ等の水質の管理
	設備導入対策			D216	その他設備の定期的な保守・点検
E203		高効率照明器具の採用(屋内)	E205	照明用人感センサの採用	
E225		蒸気バルブ等の断熱強化	E211	ポンプ・ファン等のインバータ制御	
			E235	エレベータのインバータ制御	
		E221	更新に合わせた高効率機器の採用		

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

隣接する施設へ余熱を継続的に供給し、二酸化炭素の削減を図る。